

新緑のまぶしい季節を満喫しているうちに、もうじき梅雨。恵みの雨とは知りながらも、気持はどんよりすることが多いものです。きれいな色の傘や長靴で、気持よく季節を過ごしたいですね。

さて、今回は、私たち NPO 法人マザーズサポーター協会が、小学校や中学校での授業をさせていただく場面から、自分自身の気づきをお伝えしたいと思います。この活動は、子ども達みんなが、お互いの気持ちを尊重することで気持ちよく学校生活を送れるように、「自立型支援方法」の手法を用いて、「人間関係構築力」と「自立力（＝自ら考え、自ら未来を切り開く力）」を養うことを目的としています。

（内容は省略 <(_)> HP をご覧ください）

本音でぶつかる心が開く

子どもたちに、「自分の人生を自分で選択して自由に生きる力」が誰の中にも必ずある！ということ伝えることや、自分以外の人に「思いを馳せる（＝相手の立場や考えを想像し、それぞれに事情があることを認識する）」ことの大切さに重点を置き、ワークを通じてそのきっかけとなる機会を提供しています。

子ども達の気持ちを短い時間の中で少しでも引き出し、何か気付いてくれたらと願って実施しています。そんな中、子どもたちはそれぞれに、小グループに分かれて、自分がいま直面している悩みなど、率直に話をしてくれるのですが、私の担当は、最後のまとめのお話が多く、クラスの子供たち全員の表情を感じ取りながらお話するのですが、一番彼らが真剣に聞いてくれるのが、私の過去の経験談です。

両親の離婚で、父の連れ子として生活し、独りぼっちだと幼心に感じてつらかった話。新しいお母さんとの格闘。中学時代、自己否定をして少々不良だったころの話。でも結局、自分の環境やしてきたことは自分で受け止めるしかない。誰も代わってくれるわけではなく、自分の人生は自分が決めるのだということ。

人との関係はずっと続き、大人になっても、悩みの原因はやっぱり大体が人間関係の躓きから始まる。

しゃ～～ないよね～～(*_*)

正しいお話や、これが大切！というような訓話的な話のときは、ちょっと心が遠く感じ、話し手（私）の生の心の話になると、一斉に顔がこちらに向きます。

これは、大人の方々への講演も同じです。

思わず息をのんで、それからどうしたの?? という表情が迫ってきます。

これを普段の話で置き換えてみましょう。

子どもに何かが起きた時も、ここぞというときは、親の心も裸でぶつかる！！

人生の経験時間が違うだけで、違う命と違う人生を生きている「人」として向き合えたら、きっと何かが届くのではないかと思います。

親は、子どものことを、思えばこそ悩み、厳しくしつめするし、正論を振りかざして、正そうとするのですが、結局、子どもの心が閉じてしまったと感じたら、一度、親という鎧を脱いで、目の前の人（子ども）に自分の人生を全部さらけ出して、かかわってみる。

どんな小さな子どもも、私たちと同じようにいろんな理不尽と戦い、自分の経験なりの、自分の成長に合わせた「心」で戦っています。

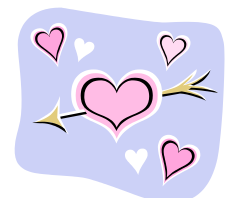
大変だな～～～(+_+)

つつい、親の鎧を着こんでしまうので、こちらも正しい人でいなければ！と意気込んで子どもを見てしまい、うまくいかなかったりする。

（あ～～私がそうでした！！）

思わず自分の虫の居所が悪く、怒鳴りつけてしまったとしても、「子ども」というより、「人」だと思えば、謝れる。謝れば、許してもらえるかもしれなくて、次に進める。

子育てって、肉弾戦ですね。



「NPO 法人マザーズサポーター協会 ニュースレター 第4号

お読みいただきありがとうございました。

過去に情報提供のご希望があったみなさまに、送付させていただいています。

今後も更に内容を充実させ、育てる側に役に立つ「自立型支援方法」の情報やイベントのご案内などを発信させていただきます。

不定期の季刊紙として HP や書籍では読めない情報を郵送でお届けできるように、メンバーで頑張っていきます。もしご不要の場合は、お手数ですが下記のメッセージシートにお名前を明記の上「不要」とご記入いただき FAX を頂けたらありがたいです。どうぞよろしく願いいたします。

ご意見、ご感想などもいただけましたら、今後に反映していきたいと思えます。いつでもお待ちしております。

感想

HP などに掲載 (イニシャルやペンネーム) させていただく場合がありますので、好きなお名前をお聞かせ下さい。

お名前

ありがとうございました！！

～信頼関係を作り、自立と当事者意識、考える力を育てる「自立型支援方法」～

<http://m-supporter.com>

FAX : 078-731-0615

NPO 法人マザーズサポーター協会

